

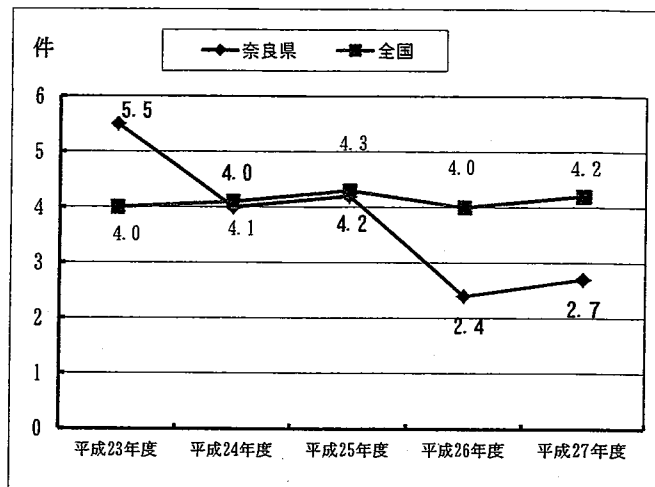
**平成27年度  
「児童生徒の問題行動等  
生徒指導上の諸問題に  
関する調査」結果の概要**

**奈良県教育委員会**

## 平成27年度 暴力行為の状況

### 1 全国との比較（国公立小・中・高等学校合わせた1,000人当たりの発生件数）

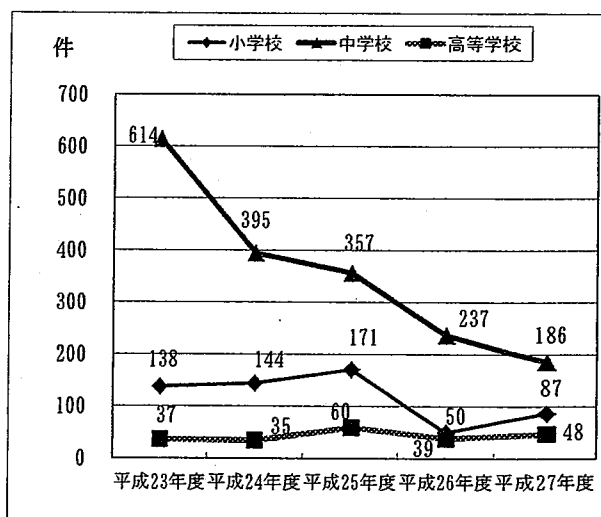
	奈良県	全国
平成23年度	5.5	4.0
平成24年度	4.0	4.1
平成25年度	4.2	4.3
平成26年度	2.4	4.0
平成27年度	2.7	4.2



※ 平成27年度の公立小・中・高等学校合わせた1,000人当たりの発生件数は、全国が4.5件、奈良県が2.5件であった。

### 2 暴力行為の発生件数の推移（奈良県の公立学校）

	小学校	中学校	高等学校	合計
平成23年度	138	614	37	789
平成24年度	144	395	35	574
平成25年度	171	357	60	588
平成26年度	50	237	39	326
平成27年度	87	186	48	321



## 平成27年度 いじめの状況

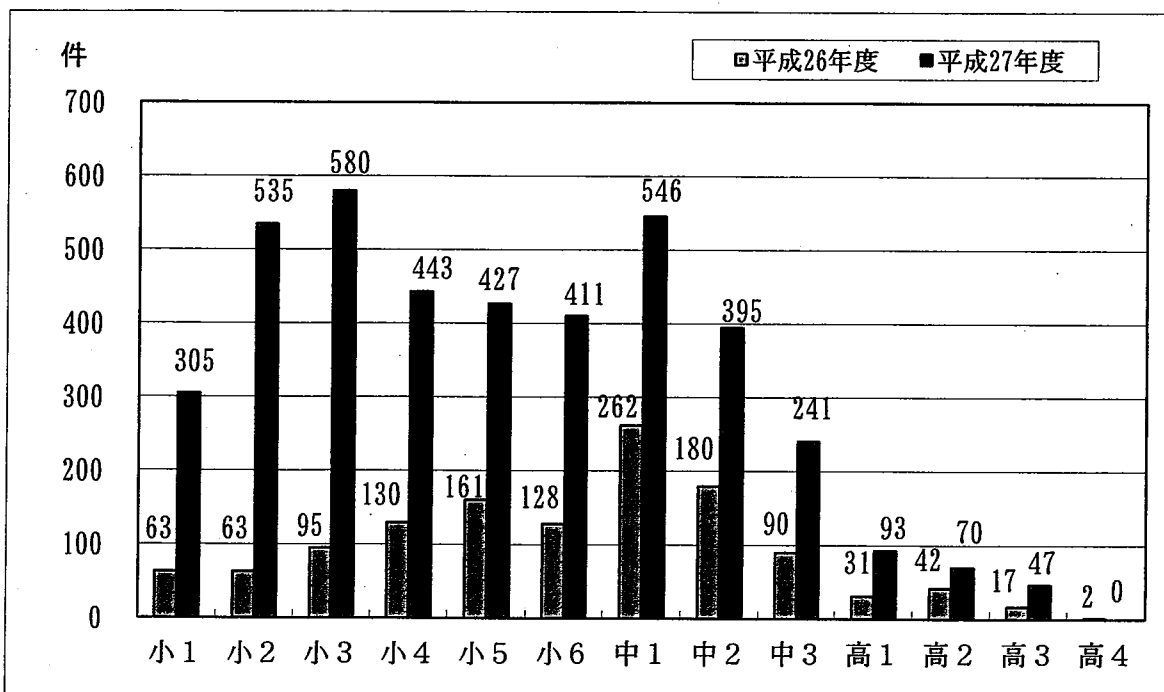
1 全国との比較（国公立小・中・高・特別支援学校合わせた1,000人当たりの認知件数）

	奈良県	全国
平成23年度	1.8	5.1
平成24年度	48.1	14.4
平成25年度	8.2	13.5
平成26年度	8.8	13.7
平成27年度	27.3	16.4

2 いじめの認知件数（奈良県の国公立小・中・高等学校）（件）

	小学校	中学校	高等学校	合計
平成23年度	103	151	28	282
平成24年度	4,768	2,278	468	7,514
平成25年度	579	514	196	1,289
平成26年度	654	585	135	1,374
平成27年度	2,712	1,274	247	4,233

3 学年別いじめの認知件数（奈良県の公立小・中・高等学校）



## 4 いじめの態様 (奈良県の公立小・中・高等学校)

(%)

区 分	年度	小学校		中学校		高等学校	
		奈良県 (公立)	全国 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	H27	67.3	62.2	65.7	67.3	66.7	62.8
	H26	68.9	63.4	75.2	67.7	56.5	63.5
仲間はずれ、集団による無視をされる	H27	13.5	18.7	12.8	15.0	18.6	15.0
	H26	19.1	20.7	16.0	15.9	8.7	15.7
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	H27	18.6	25.7	17.3	16.9	20.0	13.5
	H26	25.3	24.5	20.7	18.3	13.0	15.5
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	H27	5.9	9.1	3.6	5.8	4.8	5.2
	H26	5.5	8.5	3.9	5.7	1.1	5.3
金品をたかられる	H27	0.9	1.9	1.4	1.5	1.9	3.0
	H26	0.8	2.1	1.7	1.6	5.4	3.7
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	H27	2.2	6.8	2.5	6.3	3.8	6.1
	H26	3.8	7.4	4.5	6.5	8.7	6.9
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	H27	4.3	8.1	4.7	7.1	5.7	7.5
	H26	7.0	8.2	5.8	6.8	9.8	8.0
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	H27	0.8	1.4	7.1	7.5	13.8	18.6
	H26	1.4	1.3	5.1	7.6	23.9	17.7
その他	H27	2.3	4.4	8.6	3.2	10.5	4.8
	H26	5.8	4.8	5.6	3.5	0.0	4.3

※ 構成比は、各区分における認知件数に対する割合《複数選択可》

## 5 いじめの解消状況 (奈良県の公立小・中・高等学校)

(%)

区 分	年度	小学校		中学校		高等学校	
		奈良県 (公立)	全国 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)	奈良県 (公立)	全国 (公立)
いじめが解消しているもの	H27	78.2	90.4	71.9	85.9	67.1	84.1
	H26	84.7	89.9	74.8	86.4	82.6	88.3
一定の解消が図られたが、継続支援中	H27	17.3	8.0	25.9	11.3	31.0	12.3
	H26	12.3	8.4	21.6	10.9	16.3	7.7
解消に向けて取組中	H27	4.4	1.5	1.9	2.6	1.4	2.2
	H26	2.2	1.5	3.6	2.5	0.0	2.6
その他	H27	0.2	0.1	0.3	0.2	0.5	1.4
	H26	0.8	0.2	0.0	0.2	1.1	1.3

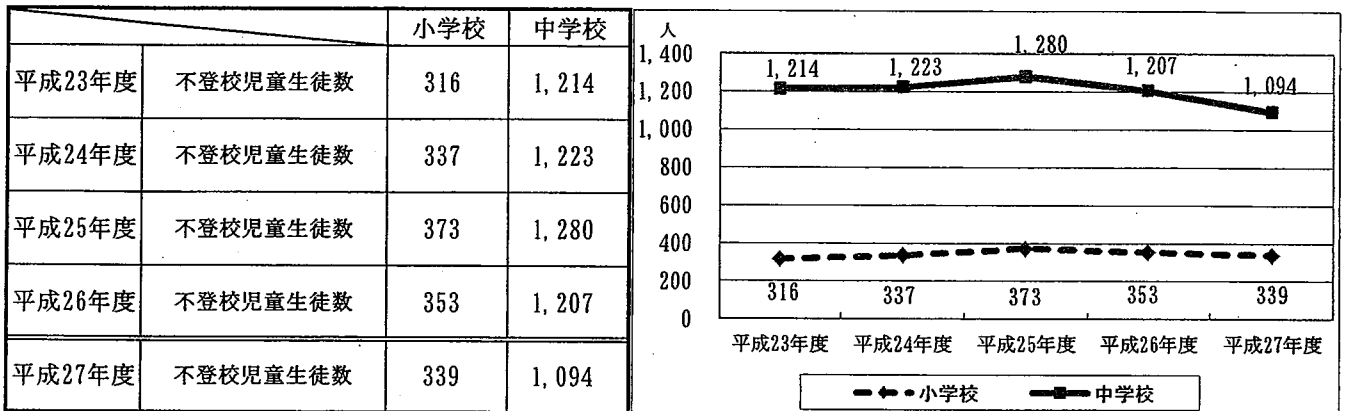
※ 構成比は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までとした。そのため、構成比で、合計が100%とならない場合もある。

# 平成27年度 小学校・中学校における不登校児童生徒の状況(年間30日以上)

## 1 1,000人当たりの不登校児童生徒数の推移(国公私立小・中学校)

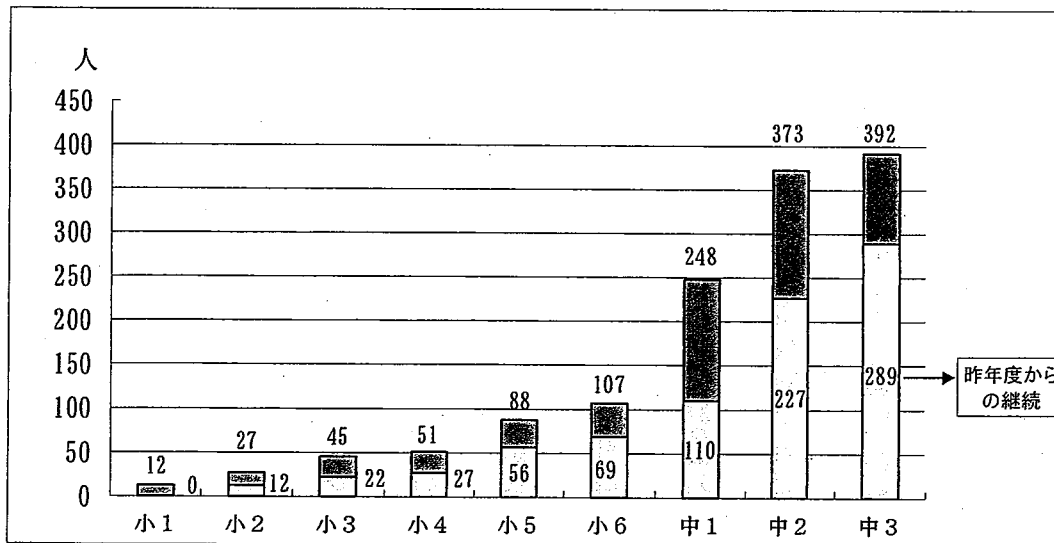
	小学校		中学校		小・中学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
平成23年度	4.1	3.3	28.7	26.4	12.8	11.2
平成24年度	4.5	3.1	28.9	25.6	13.2	10.9
平成25年度	5.0	3.6	30.8	26.9	14.3	11.7
平成26年度	4.8	3.9	29.5	27.6	13.7	12.1
平成27年度	4.7	4.2	27.4	28.3	12.8	12.6

## 2 奈良県の国公私立小学校・中学校における不登校児童生徒数の推移



## 3 奈良県の公立小学校・中学校における不登校児童生徒の状況等

### (1) 学年別不登校児童生徒数



## (2) 不登校の要因

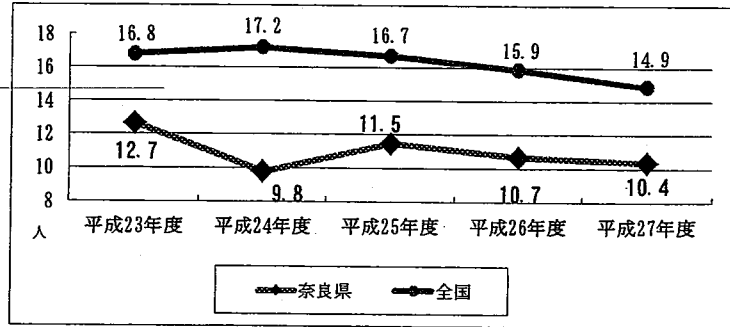
		小学校(人)	比率(%)	中学校(人)	比率(%)	合計(人)	比率(%)
学校に係る状況	いじめ	2	0.6	4	0.4	6	0.4
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	47	14.2	246	24.3	293	21.8
	教職員との関係をめぐる問題	17	5.2	21	2.1	38	2.8
	学業の不振	44	13.3	137	13.5	181	13.5
	進路にかかる不安	2	0.6	41	4.0	43	3.2
	クラブ活動、部活動等への不応	0	0.0	30	3.0	30	2.2
	学校のきまり等をめぐる問題	4	1.2	41	4.0	45	3.4
	入学、転編入学、進級時の不応	16	4.8	69	6.8	85	6.3
家庭に係る状況	203	61.5	398	39.3	601	44.8	
計	335		987		1,322		
不登校児童生徒数	330		1,013		1,343		

※ 構成比は、各校種における不登校児童生徒数に対する割合を示す。  
 複数選択可、当てはまるものがない場合は回答しないことから構成比が100%とならない場合もある。

# 平成27年度 高等学校における不登校の状況

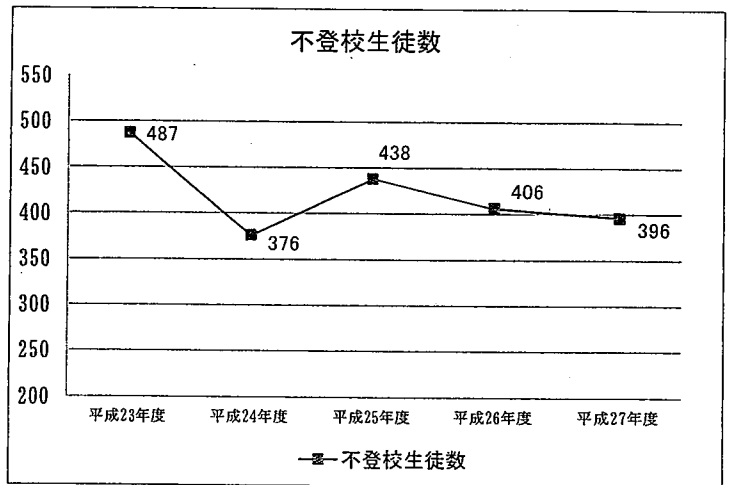
## 1 1,000人当たりの不登校生徒数の推移（国公立高等学校）

年度	奈良県	全国
平成23年度	12.7	16.8
平成24年度	9.8	17.2
平成25年度	11.5	16.7
平成26年度	10.7	15.9
平成27年度	10.4	14.9



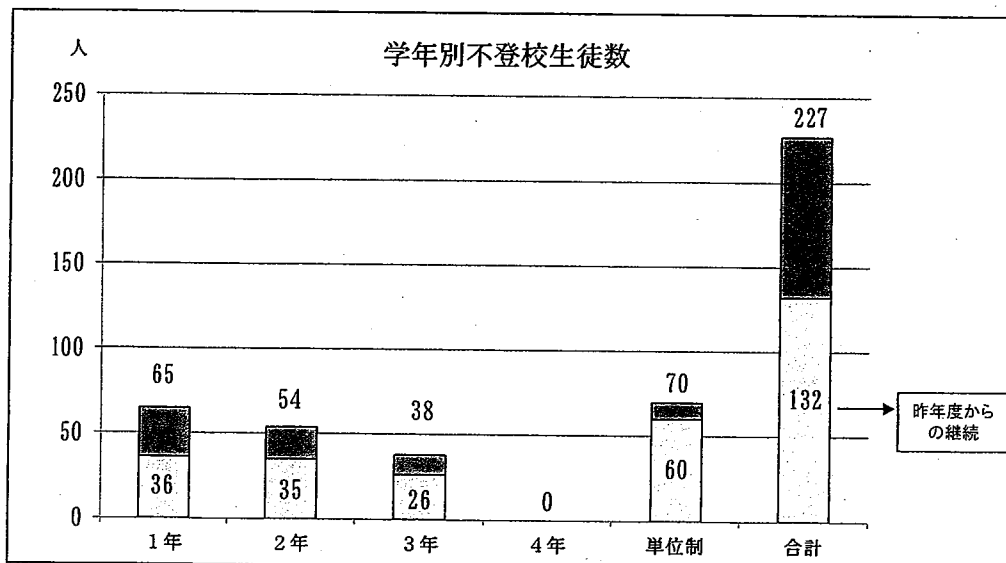
## 2 奈良県の国公立高等学校における不登校生徒数の推移

平成23年度	不登校生徒数	487
平成24年度	不登校生徒数	376
平成25年度	不登校生徒数	438
平成26年度	不登校生徒数	406
平成27年度	不登校生徒数	396



## 3 奈良県の公立高等学校における不登校生徒の状況等

### (1) 学年別不登校生徒数



## (2) 不登校の要因 (全日制)

		生徒数(人)	比率(%)
学校に係る状況	いじめ	0	0.0
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	31	18.2
	教職員との関係をめぐる問題	1	0.6
	学業の不振	31	18.2
	進路にかかる不安	15	8.8
	クラブ活動、部活動等への不応	1	0.6
	学校のきまり等をめぐる問題	11	6.5
	入学、転編入学、進級時の不応	43	25.3
	家庭に係る状況	40	23.5
計	173		
不登校生徒数	170		

※ 構成比は、各校種における不登校児童生徒数に対する割合を示す。  
 複数選択可、当てはまるものがない場合は回答しないことから構成比が  
 100%とならない場合もある。



平成27年度 県立高等学校における中途退学の状況(全日制)

1 中途退学者数(学年別・事由別)

事由	学年	学業不振	学校生活・学業不適応					進路変更	問題行動	病気が原因	経済的理由	家庭事情	その他	小計	合計
			もともと高校生活に熱意がない	授業に興味がない	人間関係がうまく保てない	学校の雰囲気がない	その他								
事由別 中退者数	1年	0	26	60	3	13	2	31	2	9	0	2	1	12	149
	2年	0	1	1	2	1	47	0	3	0	3	0	0	6	59
	3年	0	0	1	0	0	21	0	1	0	0	0	0	1	23
		0	111					99	2	13	0	5	1	19	231
事由別率		0.0%	48.1%					42.9%	0.9%	5.6%	0.0%	2.2%	0.4%	8.2%	100.0%

2 事由別中途退学者数の推移

事由 年度	学業不振	学校生活・学業不適応					進路変更	問題行動	病気が原因	経済的理由	家庭事情	その他	小計	合計	退学率(%)	学年別			生徒総数
		もともと高校生活に熱意がない	授業に興味がない	人間関係がうまく保てない	学校の雰囲気がない	その他										1年	2年	3年	
H23	22	30	45	8	27	34	4	13	3	6	1	23	348	1.40	230	89	29	24,938	
		144					155	4	15	4	10	3	32	330	1.35	66.1%	25.6%	8.3%	24,820
H24	7	28	22	3	20	34	7	18	7	6	1	32	307	1.24	200	75	32	24,432	
		107					154	7	15	4	8	1	33	272	1.12	65.1%	24.4%	10.4%	24,248
H25	7	22	26	8	16	14	9	19	5	5	1	19	231	0.96	230	74	26	24,161	
		86					196	9	13	0	5	1	19	231	0.96	69.7%	22.4%	7.9%	24,432
H26	12	17	41	7	21	14	13	239	19	8	1	33	272	1.12	183	68	21	24,248	
		100					114	13	19	5	8	1	33	272	1.12	67.3%	25.0%	7.7%	24,248
H27	0	27	62	5	14	3	2	13	0	5	1	19	231	0.96	149	59	23	24,161	
		111					99	2	13	0	5	1	19	231	0.96	64.5%	25.5%	10.0%	24,161

## 〔状況〕

### 1 暴力行為

－対教師暴力、生徒間暴力、器物損壊、対人暴力の4形態－

〈国公立小学校・中学校・高等学校における1,000人当たりの発生件数〉

平成27年度の本県の国公立小・中・高等学校合わせた児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、2.7件（前年度比0.3ポイント増）であった。なお、全国の国公立小・中・高等学校合わせた児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、4.2件（前年度比0.2ポイント増）であった。

〈公立小学校・中学校・高等学校における暴力行為発生件数〉

平成27年度の本県の公立小・中・高等学校合わせた暴力行為の発生件数は、321件（前年度比5件減）であった。

〈公立小学校・中学校・高等学校における校種別暴力行為発生件数〉

公立小学校では87件（前年度比37件増）で、児童1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、1.3件（前年度比0.6ポイント増）であった。

公立中学校では186件（前年度比51件減）で、生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、5.4件（前年度比1.3ポイント減）であった。

公立高等学校においては48件（前年度比9件増）で、生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は、1.8（前年度比0.3ポイント増）であった。

### 2 いじめ

〈国公立小学校・中学校・高等学校等における1,000人当たりのいじめの認知件数〉

平成27年度の本県の国公立小・中・高・特別支援学校合わせた児童生徒1,000人当たりのいじめの認知件数は、27.3件（前年度比18.5ポイント増）であった。なお、全国の国公立小・中・高等学校合わせた児童生徒1,000人当たりのいじめの認知件数は、16.4件（前年度比2.7ポイント増）であった。

〈国公立小学校・中学校・高等学校におけるいじめの認知件数〉

平成27年度の本県の国公立小・中・高等学校におけるいじめの認知件数は、4,233件（前年度比2,859件増）であった。校種別に見ると、小学校では2,712件（前年度比2,058件増）、中学校では1,274件（前年度比689件増）、高等学校では247件（前年度比112件増）であった。

〈公立小学校・中学校・高等学校におけるいじめの態様〉

- |     |                                   |       |
|-----|-----------------------------------|-------|
| 小学校 | ①「冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」     | 67.3% |
|     | ②「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」 | 18.6% |
|     | ③「仲間はずれ、集団による無視をされる」              | 13.5% |
| 中学校 | ①「冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」     | 65.7% |
|     | ②「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」 | 17.3% |
|     | ③「仲間はずれ、集団による無視をされる」              | 12.8% |

- 高等学校 ①「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」 66.7%  
 ②「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」 20.0%  
 ③「仲間はずれ、集団による無視をされる」 18.6%

#### 〈公立小学校・中学校・高等学校におけるいじめの解消状況〉

平成27年度の本県の公立小・中・高等学校におけるいじめの解消状況は、小学校では1.2%（前年度比6.5ポイント減）、中学校では71.9%（前年度比2.9ポイント減）、高等学校では67.1%（前年度比15.5ポイント減）であった。

### 3 小学校・中学校における不登校

－30日以上欠席し、理由が経済的理由、病気等でないもの－

#### 〈国公立私立小学校・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数〉

平成27年度の本県の国公立私立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小学校が4.7人（前年度比0.1ポイント減）、中学校が27.4人（前年度比2.1ポイント減）、小・中学校合わせて12.8人（前年度比0.9ポイント減）であった。なお、全国の国公立私立小・中学校における児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は12.6人であった。

#### 〈国公立私立小学校・中学校における不登校児童生徒数〉

本県の公立小・中学校における不登校児童生徒数は、小学校が339人（前年度比14人減）、中学校が1,094人（前年度比113人減）であった。

#### 〈公立小学校・中学校における不登校児童生徒の前年度からの継続の状況〉

小学校では、不登校児童のうち58.5%が前年度からの継続であり、6年生が64.5%と最も高かった。

中学校では、不登校生徒のうち61.8%が前年度からの継続であり、学年が進むに従って増加し、3年生では7割以上が前年度からの継続である。

#### 〈公立小学校・中学校における不登校になったきっかけと考えられる状況〉

小学校では①「家庭に係る状況」	61.5%
②「いじめを除く友人関係をめぐる問題」	14.2%
③「学業の不振」	13.3%

中学校では①「家庭に係る状況」	39.3%
②「いじめを除く友人関係をめぐる問題」	24.3%
③「学業の不振」	13.5%

の順となっている。

### 4 高等学校における不登校

－30日以上欠席し、理由が経済的理由、病気等でないもの－

#### 〈国公立私立高等学校における不登校生徒数等〉

平成27年度の本県の国公立私立高等学校（全日制・定時制課程）における不登校生徒数は396人（前年度比10人減）であった。

### 〈公立高等学校における不登校生徒数等〉

平成27年度の本県の公立高等学校（全日制・定時制課程）における不登校生徒数は227人（前年度比38人減）であった。

全日制では170人（前年度比46人減）、学年別では1年生が56人と最も多かった。  
定時制では57人（前年度比8人増）、学年別では1年生が9人と最も多かった。

### 〈公立高等学校における不登校になったきっかけと考えられる状況（全日制）〉

- |                     |       |           |
|---------------------|-------|-----------|
| ①「入学、転編入学、進級時の不適應」  | 25.3% |           |
| ②「家庭に係る状況」          | 23.5% |           |
| ③「いじめを除く友人関係をめぐる問題」 | 18.2% |           |
| 「学業の不振」             | 18.2% | の順となっている。 |

## 5 高等学校における中途退学

### 〈県立高等学校における中途退学者数〉

平成27年度の県立高等学校（全日制）における中途退学者は231人（前年度比41人減）であり、中途退学率0.96%（前年度比0.16ポイント減）であった。学年別の割合では、1年生が64.5%と最も高く、全中途退学者数の半数以上を占めた。

### 〈県立高等学校における中途退学の主な理由（全日制）〉

- |               |                 |           |
|---------------|-----------------|-----------|
| ①「学校生活・学業不適應」 | 48.1%（前年度36.8%） |           |
| ②「進路変更」       | 42.9%（前年度41.9%） |           |
| ③「病気・けが」      | 5.6%（前年度7.0%）   | の順となっている。 |